

生徒・保護者アンケート集計結果報告書

副校長 小栗 義明

昨年度に保護者様から寄せられたご意見やアンケートの結果を簡単ではありますが、まとめさせていただきます。今年度は新学習指導要領に沿った3観点評価を充実させる他、昨年度に引き続きタブレット端末の活用をさらに発展させていきたいと考えております。

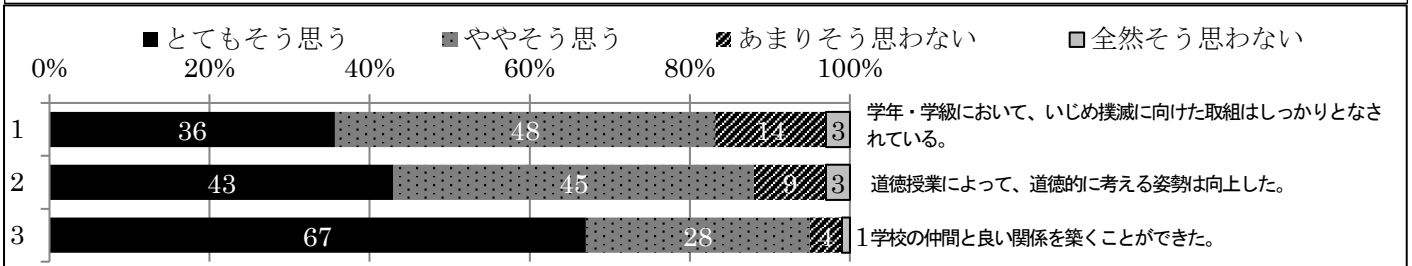
また、昨年度感染症対策の観点から行うことのできなかつた「いのちの講演会」や職場体験などの各行事の実施を予定しております。少しずつではありますが、出来ることが増えた現状の中で、アンケートの結果を十分に受け止めて、令和3年度の教育活動をより一層充実させて参ります。

【令和2年度の経営方針（重点目標）の4つの柱を下に目標実現に向けた取組の結果について】

◆生徒アンケート

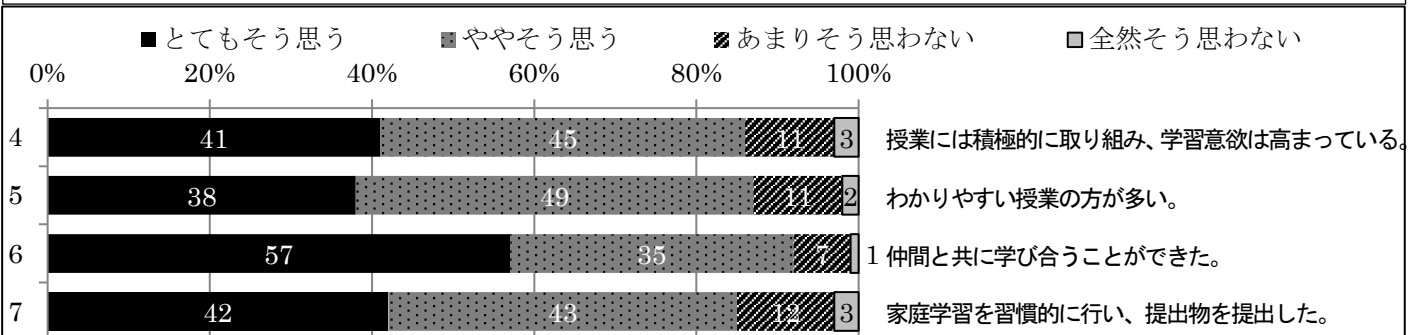
1 人権教育の充実

「自分の大切さとともに、他の人の大切さを認める」ことを目的として、いのちの講演会の開催・いじめ防止に向けてアンケート調査や教育相談週間等の取組を実施しております。今年度は臨時休校によりいのちの講演会が中止となりましたが、特別の教科道徳を要として、全教育活動を通じて「生命の尊さ」について触れました。また、いじめ撲滅宣言を全生徒に考えさせ、1学年はそれを基に学年の宣言を作成し、区から表彰されました。アンケート番号1.いじめ撲滅に向けた取組がなされている。3.学校の仲間と良い関係を築くことができたは、肯定的な回答が84%と95%であり、昨年度よりも数値が2~3%向上しました。多くの生徒が良好な友人関係を築いていると思われませんが、友人関係の悩みを担任・SC・心のふれあい相談員に打ち明ける生徒もいます。アンケートの数値では表れにくい生徒の心の声をくみ取るために、常に生徒に寄り添い、何でも相談できる信頼関係を築いてまいります。



2 学力の向上を図るための授業力向上

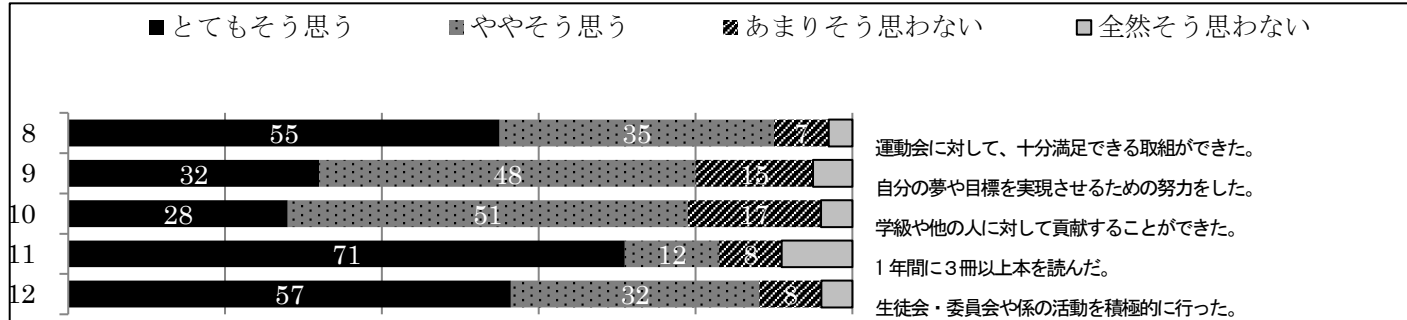
4~5月の臨時休校中に、教室に設置されたノートパソコン・プロジェクター・教材提示装置の効果的な使い方について、教員が互いに事例を紹介し合って、学びました。この自主的な研修を通してICT機器の操作に習熟し、教員の授業力向上が図られました。教材を視覚的にわかりやすく提示することで生徒の理解が深まり、実習や実験を伴う教科では正しい操作を習得しやすくなりました。アンケート番号5.わかりやすい授業の方が多くは、肯定的な回答が87%となり、昨年度より9%も向上しました。文科省のGIGAスクール構想を受け、1月にタブレット端末(クロームブック)が区から貸与されました。これからはタブレット端末を活用する学習が求められ、授業形態も以前とは変わったものになっていきます。教員の研修を計画し、ICT機器の効果的な使い方を研究するとともに、4月から全面実施となる次期学習指導要領に基づいた教科指導を進めてまいります。



3 主体的な自己実現を促すキャリア教育の充実

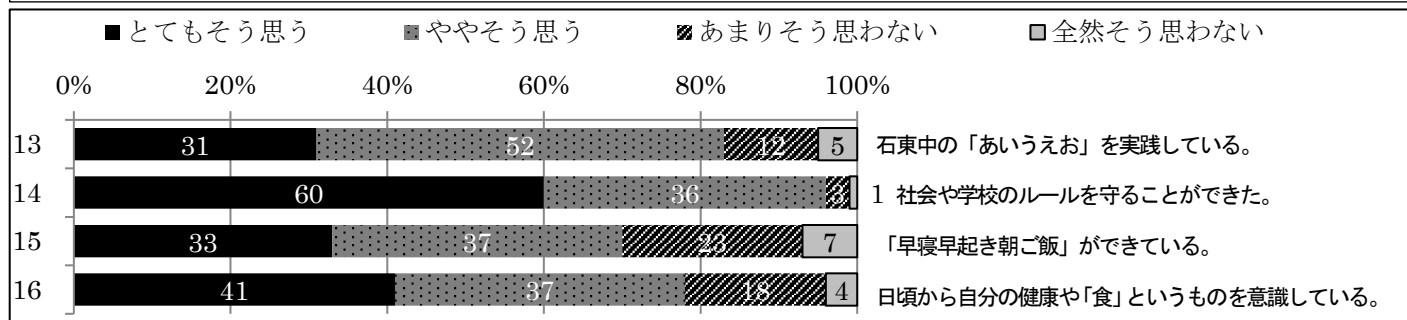
集団への所属意識や仲間との連帯感を深め、自己の特性を理解する上で大切な学校行事ですが、感染防止のためやむを得ず中止としました。感染防止対策を行い縮減して実施した運動会は、生徒はその意義を理解して、練習段階から真剣に取り組みました。2年生は職場体験学習の代案を企画し、生徒が興味をもった職種の方に、メールで質問を送信する新たな試みを取り入れました。1年生も職業調べや上級学校調べにプラスして、3月に教室に設置されたICT機器を用いて zoom 接続による企業の社長から働くことの意義を学ぶ授業を実施する予定です。メールや zoom の活用により、将来の生き方や職業について考えるキャリア教育の充実を図りました。

今年度は谷原地区祭等の地域の催しが中止になった結果、中学生にボランティアの依頼がなくなってしまいました。秋に、生徒会本部が全校生徒に、校庭の落ち葉清掃を呼び掛けました。朝早く登校して、奉仕的な活動に取り組む生徒を称えることで、自己肯定感や有用感を高めて、参加意欲の向上や社会に貢献することの大切さを伝えました。



4 豊かな人間性を育む生活指導

“石東中のあいうえお（挨拶があふれいじめがなく美しく笑顔と思いやりに満ちた学校）”の最初に置かれている挨拶運動は、3年生が中心となり部活動における挨拶を活発化させたことが全校に波及して、登下校時や校内での挨拶が大きな声で交わされるようになりました。来校された方に「挨拶が良くなりましたね」とお褒めの言葉をいただくことが多くなりました。これで満足するのではなく、生徒全員がしっかりと挨拶ができるように、コミュニケーションの一つとして挨拶の大切さを生徒に伝え、さらに活発にしていきたいと思えます。アンケート番号 14. 社会や学校のルールを守ることができたは、肯定的な回答が96%あり、生徒の規範意識の高さがわかります。また、食育については、給食時の放送で食材や栄養素に関することを説明したり、校舎の各階に設けた食育コーナーに給食だよりを掲示して、食に関する伝統や文化の継承・健康の保持増進についてわかりやすく伝えています。



◆保護者アンケート結果

保護者アンケート番号3～5の学習に関する項目は、肯定的な回答が60%前後になっています。他の項目と比べて数値がかなり低く、昨年度のアンケート調査でも同様な結果でした。本校では次期学習指導要領で示された“学び合い”を各教科が積極的に取り組んでおります。また、ICT機器についても、教員が自主的に研修を重ねて効果的な使い方を皆で共有しています。生徒アンケート番号4. 授業には積極的に取り組み、学習意欲は高まっているは、肯定的な回答が86%であり、学習に関して一応の成果が出ていると考えます。しかしながら保護者様の視点では肯定的な回答が6割程度なので、生徒と保護者様の数値に開きが生じる要因やその解消のために何が必要なのか、改めて検討したいと思います。

自由記述では、①三者面談がなくて残念だった。②校則の見直しをしてほしい。③部活動を増やして子供の選択肢を広げてほしい。④学校からの情報発信を増やしてほしい。等のご意見をいただきました。①→授業時数(1015時間)を確保するために、夏季休業日の短縮と授業カットを少なくする必要性がありました。それにより1・2年生の三者面談をなくしましたが、学校での様子をお伝えし、学校と家庭の連携を図るために、来年度は年2回(7月と12月)実施予定になっております。②→他校と比べて厳しい校則について、以前からご意見をいただいております。それらの見直しを進め、来年度から改めることになっております。ただし、通学靴や通学バッグはメーカーが抱える在庫のことがあり、もう少し時間をいただきたいと思えます。③→選択肢が広がる良さは十分理解しておりますが、活動場所に限りがあることや、部員不足が生じる心配もあり、現在ある部活動を維持したいと思います。④→学校だより、学年だより、ホームページで情報を発信しておりますが、回数や情報量について改善できないか検討いたします。

本来ならばすべてのご意見に対して回答すべきところですが、紙面に限りがあり掲載できなかったことをお許しください。いただいた一つ一つのご意見を真摯に受け止め、生徒にとって学校生活が充実したものになるよう改善の努力をしております。

